

「出会いと別れ」

3年 M.U

みなさんは「この人とあえて本当に良かった。」と思う人はいますか。回答は人それぞれでしょう。私にはいます。それは小さな頃に教わっていたバレエの先生です。なぜ私が他の先生ではなくその先生を挙げるかという、そこには二つの理由がありました。

一つ目はその先生に小さな頃から教わっていたのですが、とても厳しく、私たちを少しでも上手になるようにと、熱意と情熱がいつも私たち生徒に伝わってきたからです。また他の先生にはないほど一人一人に一生懸命指導してくださっている姿がとても輝しく見えました。バレエに関して私の中に何かあこがれになっていたことを今でも覚えています。

二つ目はバレエ以外のごくあたりまえのこともバレエを教えるのと同じように指導してくださったことです。毎回バレエ教室に入ったら「こんにちは。」レッスンは始まる時は「よろしくお願いします。」レッスンが終わったら「ありがとうございました。」帰る時は、「さようなら。」ごくあたりまえのことですが人間としてとても大切なことであり、また社会に出ても重要なことだと思います。その他にも人の話を聞く姿勢など教えてくださいました。

このような先生と出会えて本当に幸せであり、いつも尊敬すると同時に憧れる気持ちも持つようになりました。しかし、そんな先生が一身上の都合でこの三月でバレエを教えることをお辞めになると聞きました。その時、心の支えであった人と別れることがこんなにつらくて苦しいものだということをしみじみ実感しました。その後、数日涙が止まりませんでした。

先生に会える最後の日、先生は私たちに、「私がこの教室から去ることになってもあなたたちはこれからもやっていける強い気持ちを持っているからきっと私がいなくても大丈夫。」「私はこの先、もっとバレエ教師として上手に教えたいから、ここで一旦教えることをやめて学ぶ立場としてもう一度勉強しなおしたいと思っています。」「バレエ自体をやめるわけではないから、みんながバレエを頑張っていて続けてたら必ず再会できる日がきます。」「だからバレエをやめないで。もっともっと長く続けてね。」と力強くおっしゃってくれました。

先生は最後に、「別れるという形にはなるけれどこれから他の先生と共に新たなスタートをきってほしいし、その中で先生のことをなつかしんでもらえたらうれしいです。」と仰ってくださいました。その時は悲しみにあふれていてその意味がよく分からなかったのですが、後になって次のような深い意味がこめられている気がしました。つまり「別れ」というものは確かに悲しいものではありませんが、それだけではなく次への新たなスタートをきるということでもあるということです。そして別れた人から教わったことや思い出をたくさんかかえて次の道を力強く切り開いていくということでもありました。

こう思えた瞬間、私はまた先生と再会できることを信じて自分に厳しく自分を磨いていこうと強く決心することができました。こうした「別れ」ができることも素敵な先生との

「出会い」があったからこそできたことだと思います。これからも「出会い」「別れ」を一つ一つ大切にしていきたいと強く思っています。